

令和2年7月23日

競技会参加時の新型コロナウイルス対策の具体的留意点について【改訂版】
【競技者・引率者・観客向け】

空知陸上競技協会

新型コロナウイルス感染拡大防止に向けて、競技会参加にあたっては、6月11日付け公益財団法人日本陸上競技連盟が公表した「陸上競技活動再開のガイダンス」及び本協会からの下記具体的留意点を読み、それぞれが責任をもって対応していただくよう、ご理解とご協力をお願い申し上げます。なお、今後新型コロナウイルス感染状況により、急遽競技会が中止及び延期する場合がありますので、当協会ホームページで事前確認をお願い申し上げます。

【選手・顧問・指導者】

①大会会場に入場する選手、顧問、指導者（マネージャー、控え選手含む）は、大会1週間前から「新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート」を記入し大会当日、入場者名簿と共に主催者に提出すること。

※以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせること。

- ・大会当日の検温で、37度を超える場合
- ・体調がよくない場合（例：咳・咽頭痛などの症状がある場合）
- ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

※「体調管理チェックシート」については、当協会ホームページよりダウンロードして使用する。

②指導者におかれましては事前に下記の具体的留意点を選手に指導していただき。保護者等にも同様の内容を周知徹底しご協力頂くようお願いいたします。

- a. 選手はマスク着用で選手招集所に集合し、招集所では設置されている消毒液で手消毒を行うこと。
- b. 選手はタオルの共有はしないこと。競技中につばや痰を吐くことは極力行わないこと。
- c.トラック選手はスタート準備への移動前まで、フィールド選手は試技開始までマスクを着用すること。
- d. テントを張る場合は、横幕を明け、密閉状態を作らないこと。基本的にはテント内を荷物保管場所とし、天候等でやむをえず人が利用する場合は、人と人との間隔をあけること。
- e. 競技場内、スタンドにおいても隣との間隔をあけ、近距離での会話を避けること。
- f. ウォーミングアップやダウンは、密を避けて実施すること。
- g. スタート地点や試技場では、選手同士の間隔をあけて待機し、点呼をうける。

また審判の指示をよく聞くこと。

- h. 競技終了後は、審判の指示により速やかに退場すること。
- i. 器具を触った手で口や目を触らず、競技終了後は入念な手洗いを行うこと。競技結果（記録）の掲示は行わず、競技終了後のアナウンスと当協会ホームページに掲載するのでそれを利用すること。ただし決勝ラウンドがある場合は、番組編成の掲示を行う。放送により大切な連絡をする場合があるので、放送がかかった際には静粛をこころがけ、しっかり聞き対応すること。
- j. 大声での応援や集団応援は禁止する。
- k. ゴミは感染防止のため、各自持ち帰ること。
- l. 大会終了後2週間以内に、新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について連絡すること。

【保護者・観客】

応援・見学等で競技場へ来られる場合は下記の点につきましてご理解いただき、ご協力をお願いいたします

- ① 大会当日の検温で、37度を超える場合はご来場をご遠慮願います。
また受付にて検温させて頂き入場をお断りさせて頂く場合もございますのでご理解とご協力をお願いいたします。
- ② 競技会場入口にて、入場者名簿（氏名・体調の把握等）の記入、提出を求める場合があります。
- ③ 来場される場合、全員マスクを着用するようお願いいたします。
- ④ スタンド・芝生席では、十分間隔をあけて座り、手すりなどを触った場合等の手洗いを励行して下さい。
- ⑤ 大会終了後2週間以内に、新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について連絡する。

大会関係者・ご来場されるかたから、新型コロナウイルス感染者を出さないことが競技会を開催していくことの最低条件となっております、皆様のご理解とご協力が無ければ今後に影響をおよぼすこととなりますので充分ご注意下さい。